

LB 会報



2021年12月 No.24 一般社団法人東大LB会機関紙

編集者：井田淳、和田康太郎 協力（現役）出射令雄、石田ちひろ

がんばれ、ア式蹴球部！

今シーズンは、2シーズン振りに東京都1部で戦ったが、コロナ禍によるリーグ戦中断期間もあり、シーズンを通してコンスタントに力を発揮できず、2勝3分19敗の最下位で、来シーズン2部降格となった。今シーズンは1部の厳しい洗礼を受けたものの、監督、コーチ、テクニカルスタッフなどの力強い取組もあり、選手個人もチームも成長が感じられた1年であった。来シーズンは、この自信をベースに、1部で戦えるチームになって、1部復帰及び定着を目指す所存です。

ア式女子も、昨年創設されたCiEリーグの2シーズン目を戦っており（チーム数は4チームから7チームに拡大）、連覇は難しいが、チーム力の向上を目指してがんばっている。



東京都大学サッカー1部リーグ第4節（延期分）10月31日、対学習院大学戦、於：農学部グラウンド
決勝点を決めた西澤選手（3年・農）ら、結果 1：0 勝ち

◆◆現役の活動報告◆◆

1. 2021年度シーズン運営体制

総監督：利重孝夫 (S63 卒)

男子部 (シーズン開始時)

監督：林 陵平

主将：吉岡泰生 (4年・経)

副将：染谷大河 (4年・教養)、松波亮佑 (3年・工)

主務：大田 楓 (4年・工)

(シーズン途中の代替わり後)

監督：林 陵平

主将：松波亮佑 (3年・工)

副将：大矢 篤 (3年・経)、八代快 (2年・文一)

主務：出射令雄 (3年・教)

女子部

監督：藤岡佑将 (H28 卒)

主将：津旨まい (3年・農)

主務：石田ちひろ (3年・薬)

アドバイザー：大里真理子

コーチ：大瀧絵里、岡野史恵、水谷優香 (R2 卒)、小倉優香 (R3 卒)

2. 2021年戦績

男子戦績 (東京都1部リーグ戦績表 (最終))

順位	チーム名	勝点	試合数	勝	分	負	得失点	得点	FPP
1	青山学院大学	49	24	15	4	5	18	43	22
2	明治学院大学	49	24	16	1	7	17	39	24
3	東京農業大学	47	24	14	5	5	28	49	13
4	國學院大學	46	24	14	4	6	12	36	25
5	山梨学院大学	44	24	13	5	6	33	65	15
6	東京経済大学	41	24	12	5	7	13	33	22
7	帝京大学	34	24	11	1	12	1	38	13
8	成蹊大学	30	24	8	6	10	-8	28	17
9	学習院大学	26	24	8	2	14	-11	32	14
10	亜細亜大学	26	24	8	2	14	-14	25	16
11	朝鮮大学校	25	24	7	4	13	-12	22	21
12	大東文化大学	18	24	4	6	14	-32	11	26
13	東京大学	9	24	2	3	19	-45	11	16

※FPP - フェアプレーポイント

女子戦績 (CiE リーグ戦績 (11 月 14 日現在))

2年目のCiEリーグは7チームが参加しています。コロナの影響で消化試合がまちまちですが、11月14日現在東京外国語大学が5勝1分けで1位、文教大学が3勝1分けで2位、東大は1勝3敗(得点6,失点8)で5位という状況です。(各試合の結果は以下の通り)

- 第1節 9月12日(日) vs 東京学芸大学 ● 1-4 (0-0) 得点者: 福田(河西)
 第2節 9月19日(日) vs 東京外国語大学 ● 0-2 (0-0) 得点者: なし
 第3節 10月3日(日) vs 国際基督教大学 ○ 4-0 (1-0) 得点者: 戸田、鈴木、加藤、福田
 第4節 11月7日(日) vs 文教大学 ● 1-2 (0-1) 得点者: 村上

3. 2021年シーズン振り返り

(1) 男子部 監督 林陵平



日頃よりL B会の皆様に心強いご支援を賜りまして、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

監督に任命を頂いてから、初めてのシーズンを先日無事に終える事が出来ました。無事にと言いまして、2勝3分19敗勝ち点9の獲得にとどまり、東京都2部リーグへの降格が決まってしまいました。

1部残留が出来なかった事に対し、関係者の方々に非常に申し訳なく思っております。

シーズンを振り返りますと、コロナによりシーズン開始前にホームグラウンドが使えない事や、また7月の初めから國學院大学、

強豪の青山学院大学、明治学院大学に良い戦いが出来て、その流れで学習院大学に初勝利をあげることが出来て、そのまま良い流れで行くぞと思った矢先にコロナによる再度の中断。8月6日の東京経済大学戦延期などチーム活動が止まりました。フィジカルコーチの協力により活動中止中でもコンディションを落とさないようにメニューを組んでもらい取り組みましたが、定点的に常にチームを見ていた私からすると、再開時のフィジカルコンディションは非常に落ちてしていると分かる状態からの再スタートとなりました。そこからもう一度チーム状態が上がるまでに時間がかかり、後期の後半戦にようやく内容的に戦えている状態になりました。

19敗の中で1点差での敗戦が8試合ありました。その得点差がそのままゲーム内容を表すわけではないですが、ゴールの数字として一点取れば同点の勝ち点1、2点取れば勝ち点3に転がる可能性、チャンスがあったとは言えます。しかし、まだまだチームとしてのピッチ内はもちろんのことピッチ外での多発する遅刻などの甘さが試合に表れていると感じています。

東京都1部というプロに行くような選手がいる、また入部がセレクションである各大学に対して、語弊を恐れず言えば個の能力差は正直ありました。戦術の部分だけでなく、個の成長もなければ一部に残留することは難しいと思います。

しかしながら、各選手やコーチ、テクニカルスタッフ、マネージャーと皆が本当に必死に取り組んでくれました。

降格はしましたが、選手個人個人、チームとしても非常に大きく成長したと自信を持って言えます。

この舞台で真正面からぶつかり戦えたことは、間違いなく来年に繋がります。

来年も厳しい戦いになると思いますが、1年で1部に戻れるよう日々精進していきます。

また最後になりますが、ア式を取り巻く環境や運営、後援体制は大学サッカーでも屈指のものであると思っています。

この日本に誇る東京大学で、先進的な運営が行われている事に大きな意味を感じております。

重ね重ねいつもご支援のほど本当にありがとうございます。引き続きお力添えの程よろしくお願い致します。

(注) 9月12日付け毎日新聞に、林監督を紹介する記事が載りましたので、P16～P17に転載致します。

(2) 男子部 主将 松波亮佑



林陵平新監督を迎えての2021シーズン東京都一部リーグは、2勝19敗3分の13位という不甲斐ない結果に終わってしまいました。一部の他のチームと比べ明らかに戦力で劣る自分達は、積極的な守備から試合の流れを掴むということを共通認識とし、開幕前からトレーニングを積み重ねてきました。開幕直後の数試合では、積み上げてきた守備の部分で一定の手応えを掴めたものの、効果的な攻撃の手段を作り出せず、勝利は得られませんでした。その後、得点力不足を解消するため、ボール保持の部分での戦術システム変更で、改善を図ったものの、やはり特にゴール前でのクオリティの差を埋めきることができず、最下位という結果になってしまいました。今シーズンは試合数が多く、また新型コロナウイルスの影響により多くの試合が延期されたことで、例年以上の過密日程での連戦が重なり、肉体的にも精神的にも非常に苦しいシーズンとなりました。来シーズンは2部での戦いとなりますが、今季感じた差を埋め、1部で戦うに相応しいチームとなって、昇格を果たします。今後も変わらぬご支援ご声援のほどよろしく願いいたします。

男子部主将 松波亮佑 (3年・工)

(3) 女子部監督 藤岡佑将 (H28卒)

平素よりご支援いただき誠にありがとうございます。2021年シーズンも東大ア式女子という素晴らしいチーム、コミュニティに引き続き監督という立場で関わらせていただいておりますこと、心より感謝申し上げます。

ピッチ内では、今年7チームに拡大した関東大学女子サッカー連盟 CiE リーグを戦い、ディフェンディングチャンピオンとして連覇を目指しましたが、学芸大、外語大、文教大に敗れて目標達成とはなりませんでした。

当初、トレーニングのテーマが特定の局面(主に攻撃、ビルドアップ)に偏ってしまいましたが、対学芸大、対外語大の連敗で問題に気づき、その後はプレッシングやカウンターのトレーニングも取り入れました。その結果、より力強いプレーを行えるようになり、経験者が揃う文教大(過去には10点差で敗れたこともある相手)に1-2と肉薄することができました。

余談ですが、どんなレベル・カテゴリーであれ、リーグ戦を真剣に戦うのであれば



女子部 右:藤岡監督 左:大里アドバイザー

ある程度必然だと思われるポジション争いも、ア式女子内で激化しております。このポジション争いがチームにとって健全なものとなり、個々がチームの目標に向かって向上できるよう、私自身も努めて参ります。

ピッチ外では、「ア式女子」というチーム、コミュニティの形や大きさ、自分達にできることについて考える一年でした。

その中で、10月にTwitterで行った「衆議院総選挙への投票の呼びかけ」は一つの成果と言えます。「若い世代の一員として、社会に対して何かできないだろうか？」という学生の課題意識から始まったこの発信は、東大運動会の他部、関東女子学連の他チーム、東大学生課の職員の方々などから好意的な反響を数多く頂くことができました。

トップダウンではなく、学生からのボトムアップでこのような発信を行えたことにも大きな価値があると考えております。学生が発案し、大人が背中を押したことで実現しました。彼女達が自分達自身の問題意識に立ち向かい、行動し、他者から評価を得たことは、このチーム・コミュニティとっても非常に大きなことだと確信しております。

最後に、共同活動チームの文京LBレディース、文京LBスプラウツについてもご紹介させていただきます。両チームは、昨年までに引き続き東京都社会人リーグに参加しております（レディースが2部、スプラウツが5部）。コロナ禍で東大グラウンドが使えず小石川や王子フットサルコートでの活動がメインでしたが、学生からママさんまで、毎週楽しく真剣にボールを追いかけております。

ア式女子、文京LBレディース、ともに初心者と経験者が一緒に活動しています。できるプレーの違い、人生におけるサッカーの重要性の違い、ライフステージの違い、価値観の違いなどに日々直面しています。しかし「どのカテゴリー、どのレベルであっても、サッカーというゲームは常に面白い」という信念のもと、部員一同これからも励んで参ります。引き続きご指導、ご鞭撻のほど、宜しく願い申し上げます。

（４）女子部 主将 津旨まい

昨年東大主導のもと立ち上げた関東大学女子サッカーCiE(シー)リーグ戦が2回目を迎え、昨年からの参加校に加え、国際基督教大、東京外国語大、文教大の3校を迎えて7校で開幕しました。昨年4校であった参加校が7校となり十分な試合ができると思ったものの、リーグ参加校のほとんどが大学から新型コロナウイルス対策の規制を受けているため、リーグ戦の開始が遅くなり全部で6試合のみとなりました。そうした中、昨年と同じくCiEリーグ優勝を目標に掲げ挑んでおります。

女子部におきましては、2年生1名と1年生3名、計4名の新入部員を迎え、部員は13名となりました。また、普及を目的とするCiEリーグでは多くの大学生に試合出場の門戸を広げようということで他大生の登録も可能という規定になっているので、部員が怪我をしてもフォローできるように合同で活動している文京LBレディースから6人に参加してもらい、総勢19名で挑んでおります。さらに、大里女子部アドバイザー・CiEリーグ理事には昨年度に引き続きCiEリーグへ協賛金を出していただき、リーグ戦を開催することができました。

残りの試合である創価大学戦は11/28(日)、茨城大学戦は12/19(日)にあります。試合を重ねるごとにプレーを改善していけていると思いますので、良い結果を残せるよう日頃から精進してまいります。

依然新型コロナウイルスの影響はありますが、鹿園部長はじめ男子部の方々、運動会の方々などのご尽力のおかげで多くの活動をする事ができました。この場をお借りして感謝申し上げます。今後も女子部が東大ア式蹴球部の中で大きな価値を持てるように、プレー面はもちろんのことそれ以外の場でも様々な挑戦をしてまいりたいと思います。応援のほど、どうぞよろしくお願いいたします。



女子部主将 津旨まい (3年・農)

(注) 現役の皆さんからの寄稿は11月15日に頂いておりますので、その時点の戦績で文章が書かれている点、ご了承下さい。

4. オフザピッチ活動

日頃からの多大なるご支援に感謝いたします。オフザピッチにおきまして、今年度は昨年度までと比べ、活動の幅をさらに広げ、価値ある取り組みを行っていると感じております。今後も大学部活動の枠組みを超えた新たな取り組みを推進し、ピッチ内により多くのものを還元できるように尽力してまいります。細かな活動内容における各担当者のコメントは、以下の通りになります。

(主務：出射令雄（3年・教）)

男子

① データ分析



リアルタイム分析技術を用い、ハーフタイム中に選手に指示を与える
テクニカルスタッフの木下慶悟（3年・工）

ピッチ外から主に戦術面でコーチ陣や選手をサポートするテクニカルユニットは、シーズンを通して活動の幅を飛躍的に広げてまいりました。新たに試合のリアルタイム分析やプログラミングを用いたシステム開発などに取り組み、そうした活動が評価され、筑波大学蹴球部やオーストリア 2 部のプロクラブ、Wacker Innsbruck との提携が決定いたしました。また、LB 会の皆様方のご支援により購入した Bepro/CATAPULT（映像分析プラットフォーム/GPS デバイス）を活用し、データを用いたパフォーマンス分析にもさらなる力を注いでおります。この場を借りてご支援賜りましたこと厚く御礼申し上げます。来シーズンは、築いてきた分析の基盤や得た知見を元に、勝利という目に見える結果でもチームに貢献できるよう精進していく所存です。今後ともご支援ご鞭撻の程何卒よろしくお願い申し上げます。

(担当：木下慶悟（3年・工）)

分析チームの取組進捗について【テクニカルアドバイザー杉崎健氏よりメッセージ】

LB 会および保護者の方々含め関係者の皆様、日頃よりご支援賜りましてありがとうございます。本年度よりテクニカルアドバイザーに再就任致しました杉崎でございます。10年前、テクニカルチームを創設した時にも関与させていただきましたが、その当時に比べると圧倒的に質も量も向上しております。それを体感できた1年でした。しかし、結果としては残せなかったことに責務を感じております。対戦相手分析、データ分析、リアルタイム分析はプロ現場でも整っていない環境・チームがほとんどです。そんな中、特にリアルタイム分析において進言とサポートを致しましたが、結果に直結するこの部分の質は向上の余地が大いに残されています。基盤を作った年とも言えるかと思っておりますので、来季のテクニカルチームにもご期待いただければと存じます。引き続き、ご支援の程宜しく願い申し上げます。

② プロモーション

発足から3年目を迎えたプロモーションユニットは、今季2社のスポンサー企業（アクセントア株式会社、レオス・キャピタルワークス株式会社）と1社のサプライヤー企業（ベースフード株式会社）と契約を結び、活動を共にしてまいりました。本ユニットの目的はサッカーの競技力向上に直結するような環境の整備（指導体制の見直しや備品購入）と組織としての価値向上のための活動にかかる資金を集めることです。ア式は、指導者への報酬や諸費用の一部などを、LB会の皆さまのご支援で成り立っているのが現状です。今季のような指導体制を持続的で自立的なものにするためにも、更なる部の発展のためにも予算を少しでも拡大できるようプロモーションユニット一同精進してまいります。

またスポンサー獲得活動に際して多くのOBの皆さまにご協力をいただいております。多大なるお力添えをいただいておりますこと、この場を借りてお礼申し上げます。今後とも現役部員よりご協力を仰ぐことがあるかと思われませんが、何卒よろしくお願いたします。

（担当：石丸泰大（3年・文三））

アクセントアのロゴを胸に
（男子部主務 出射令雄（3年・教））



③ リーグ戦のライブ配信



新型コロナウイルスの影響によりLB会の皆様を始め応援してくださる方々にピッチで試合を観戦していただけない状況が続いております。今季からはエンゲートというプラットフォームを通して実況・解説もつけた公式戦の生配信を行ってまいりました。既に多くの方にご視聴いただき、またエンゲートを通して応援コメントやギフティング(投げ銭)という形で応援していただいております。皆様からのご支援に対して勝利という形でお返しをし、さらにそれを少しでも多くの方にご覧いただくことを目標に継続して取り組んでまいります。

東京都大学サッカー1部リーグ第25節 対成蹊大学戦、
成蹊大学グラウンドにて、ライブ配信用の機材を準備するスタッフら

因みに、ライブ配信は、下記のURLから会員登録をいただき、ア式蹴球部をフォローしていただくことで、視聴できます。選手へのコメントやギフティングを行うこともできますので、是非登録していただければと思います。（担当：馬目蓉子（3年・文））

<https://engate.jp/communities/todai-soccer/>

④ 国際的活動

今年 8 月、オーストリア 2 部に所属する FC Wacker Innsbruck と提携関係を締結致しました。今年度弊部の国際的活動の一環として海外クラブとの繋がりを模索していたところ、当時同 U23 チームの監督を務められていたモラス雅輝氏にお声掛けいただき、特に弊部テクニカルユニットの先進性を評価され正式な提携に至りました。以来サッカーの分析や研究を共同で行い双方の交流を



深めています。夏頃には U23 チームの分析資料を作成した他、10 月にモラス氏がトップチームの暫定監督に就任されてからはトップチームの対戦相手分析も我々が担当しており、英語での分析資料も Wacker 側から非常に高い評価を頂いています。また、コロナウイルスの感染状況次第ではありますが、年明けにはオーストリア現地へのインターン派遣も非常に前向きに検討している状況です。今後も定期的・積極的に活動の様子を発信して参りますので、是非ご注目ください。

(担当：岡本康太郎 (2 年・文一))

←オーストリア 2 部、FC インズブルックとの提携を喜ぶ、国際的活動ユニットのメンバーら

⑤ 筑波大学との提携

テクニカルユニットでは 7/5 付で筑波大学蹴球部とデータ分析に関する協力関係を結びました。両大学の持つデータ分析に関する知見を活かし、日本サッカー界のデータ分析の底上げに寄与するような研究活動・普及活動を目指すものです。実際に新たな指標の開発等に取り組んでおり、また LB 会からのご支援により導入が実現した「Bepro」という分析ソフトを用いた協業も行っております。サッカーとアカデミアの関係は欧州を中心として近年いっそう重要視されており、その流れは日本でも無視できないものになりつつあります。こういった情勢もあり、この協力関係締結のリリースは大きな注目を集めることができました。なお、これを契機として、筑波大学の他にいくつかのサッカー部との共同分析にも取り組んでおります。東大ア式蹴球部がデータ分析の世界においてハブの役割を果たし、その成果を競技面にも還元できるよう、これからも全力で取り組んでまいります。



(担当：高橋俊哉 (3 年・文))

⑥ 御殿下サッカースクール

新型コロナウイルスの影響により、山中湖合宿、ライオンズカップは中止となり、従来のように御殿下グラウンドでの開催もできない状態が続いております。しかし、そうした中におきましても、毎週日曜日に文京区本駒込にある駕籠町小学校で開催しております。今後も、地域の子供達に寄り添い、サッカーの楽しさをより多くの子供に広められるように精進してまいります。

(担当：小川原元陽 (3 年・法))



大学利用不可に伴い、籠町小学校において、御殿下サッカースクールを開催する様子

女子

① CiE リーグの拡大

昨年、ア式女子が中心となり「女子サッカーを楽しむ、普及する」ということをコンセプトに、CiE (Creation is Encouraged) リーグを創設しました。これまで所属していた関東大学女子サッカーリーグ3部では、実力差により大差で敗退する試合が多く、同等の相手と試合をする機会が限られていましたが、このリーグを創設したことにより、より多くの女子大学生がサッカーを、そして試合を「楽しむ」ことができているように感じております。昨年は4チームのみでのリーグ戦であったため、今年は更なる参加校を集めることに尽力し、様々な大学への声掛けやSNSでの発信を行いました。多くの方々のご支援もあり、結果として、7チームでのリーグ戦を実現することができています。今後も大学間の繋がりを大切にしつつ、CiEリーグの発展に向けて活動していきたいと考えております。



CiEリーグの拡大に際して、東京学芸大学の選手と合同撮影

② 衆議院選挙の投票呼びかけ

小澤春佳(4年・教養)の発案により、若い世代による衆議院選挙の投票率を上げることを目的とした動画を作成し、SNSでの発

信を行いました。また、私たちの世代の人に投票を呼びかけるために、運動会の他の部活や他大学の女子サッカー部などに拡散の協力を呼びかけました。まだまだ模索途中ではありますが、今回のような選挙についての発信だけでなく、女性アスリートの抱える健康問題などのピッチ外のことについても、日々話し合いを続けております。

③ なでしこサッカーフェスティバル

女子部は、毎年12月に「東大なでしこサッカーフェスティバル」と呼ばれる、都内の高校女子サッカー部を招いたサッカー大会を開催しております。昨年はコロナ禍のため開催することはできませんでしたが、今年度は来年2月頃の開催を予定しております。この大会が、女子サッカー部同士の交流の場やア式女子のことを知ってもらう場として機能するだけでなく、大学でも女子サッカーを続けるということを選択肢として持ってもらうきっかけになることを目指しております。

5. 2022年スケジュール

男子部

- 1月 スタートアップミーティング
- 3月 卒部式
- 3月下旬 アミノバイタルカップ都学連予選
- 4月 入部式
- 4月～7月 東京都大学サッカーリーグ2部(前期)
- 7月 双青戦
- 8月～10月 東京都大学サッカーリーグ2部(後期)
- 11月 東京都大学サッカートーナメント
- 12月 納会
- 12月 東大サッカーフェスティバル

女子部

- 1月 国公立大会
- 2月中旬 始動・東大なでしこサッカーフェスティバル 2021
- 3月 卒部式・新歓
- 4月 入部式
- 6月 東京都リーグ開幕(文京 LB レディース)
- 8月 関東大学女子サッカー-CiE リーグ開幕
- 12月 納会・東大なでしこサッカーフェスティバル 2022



女子部主務 石田ちひろ (3年・薬)

◆◆LB会の活動状況報告◆◆

1. 2021 年度 事業報告(中間報告)

LB 会報 No.23 にてご報告した 2021 年度予算に基づく事業の進捗です。

今年度も引き続きコロナの影響で、事業計画や予算費消に不確定要素が依然ある状態の中、今年 3 月 13 日の社員総会で承認された事業計画・予算に基づき事業を進めております。

- ① 現役サポートは、今年度都リーグ 1 部復帰を果たした男子部は、元 J リーガーの林陵平氏を監督に招くとともに、J リーグの優勝チーム等で分析官を務められた杉崎健氏をテクニカルアドバイザーとして就任いただき分析チームのパフォーマンスを上げて、まずは東都 1 部に定着し、更には関東リーグ昇格を目指す、女子部は、昨年東大主導で立ち上げた CiE リーグ（シーリーグ）の連覇を目指す、という明確な目標がたてられたので、LB 会としても最大限のサポートを継続実施しております。

（注）残念ながら今シーズンは男女とも目標には届きませんでしたが、来シーズンも男子は林監督、女子は藤岡監督のもと、高い目標に向かって着実な前進を図る所存です。

- ② 年齢別サッカー活動では、公式戦の試合数が削減されたり、シニアの交流戦の多くが中止になるなど、コロナ禍の影響を大きく受けてきました。11 月に入り、コロナ禍が少し落ち着いてきたこともあり、藤枝 FC との交流戦「金丸杯」や東早慶 3 大学 OB 戦が再開されるなど、試合数の復活が期待され始めております。
- ③ 御殿下サッカー教室は、大学施設（御殿下 G）を使えない状況が続いており、大学近辺の小学校や公園での活動など工夫をしながらコロナ禍でのスクールを実施しています。
- ④ 情報発信では、LB 会報を 4 月と 12 月（今号）に発行するとともに、昨年刷新した LB 会のホームページの維持・拡充のために、現役ホームページとのリンクを張る、等の取り組みを進めました。 (LB 会事務局 S58 卒 和田康太郎)

2. 2021 年 LB 戦績

1. 若手 LB の活動

東大 LB は、東京都社会人サッカーリーグ 2 部 1 ブロックにて、2 勝 1 分け 10 敗で、15 チーム中 14 位（13 試合消化時点）。なお、コロナ特別措置により降格なし。

東大 LB Second は、東京都社会人サッカーリーグ 4 部 Group H にて、5 勝 1 分け 1 敗で、9 チーム中 2 位（7 試合消化時点）

（H27 卒 松田裕生）



10 月 24 日、O-60 リーグ（CWL）vs 渋谷 1950 戦にて
於：兼松都賀グラウンド

2. O-60、-65 の活動

O-60 は、現在東京都シニアサッカーリーグ（O-60）の 3 部 B ブロック 9 チームでリーグ戦を戦っており、6 試合消化時点で、1 勝 3 分 2 敗の 7 位。

6 試合で 3 得点と、得点力不足が問題であるが、この 3 点は直近 2 試合（10 月）であげたものであり、調子は上向き。コンパクトな陣形で前から積極的に守備をし、味方の攻撃に繋げる戦法が実りつつあり、残り 2 試合全力で戦い、少しでも順位を上げたい。 (S53 卒 井田 淳)

O-65 は、現在東京都シニアサッカーリーグ(O-65)の 1 部 10 チームでリーグ戦を戦っており、5 試合消化時点で、0 勝 1 分 4 敗の 9 位です。O-60 同様、得点力不足の問題を抱えているが、今シーズンはまだ 4 試合残っており、いずれも年明けなので、怪我や体調不良の選手の回復を期待しつつ、上位を目指したい。(S53 卒 井田淳)

3. O-70(LB クラブ)の活動



今年度東京都 O-70 リーグは、参加 14 チームを 2 ブロックに分け、現在ブロック内の総当たりのリーグ戦を行っており、現状 2 勝 3 敗で勝ち点 6、7 チーム中 4 位。1 月の最終戦後、両ブロックの同順位同士の順位決定戦により全体の順位を決定する(昨年度と同じ方式)。今年は、5 人の「新人」が加わり、リーグ上位での活躍を目指したが、前年からの課題だった得点力が向上せず、前半 3 試合全て 0-1 で惜敗となった(布陣を替えて臨んだ第 4 試合、第 5 試合は 4-0、2-0 で快勝したが)。来年度は上位での活躍を目指したい。

ところで、70 リーグには、60 歳以上の女性が参加できる規定があり、実は昨年より LB クラブにも一人齊藤由理子さん(旧姓：島)が加入し活躍している。学生時代東大に女性チームがなかったため、当時女子サッカー界で敵なしと言われた FC ジンナンでプレー、なでしこ元祖の一人でもある。遅ればせながらお知らせする次第です。写真前列右から 3 番目。(S47 卒 宮路康利)

4. O-75 (LB クラブ 75) の活動

2021 年度の 75 リーグは 4 月に開幕し、6 チームの 2 回総当たりと言う計画でしたが、4 月 16 日の開幕ゲームを終えた後は、コロナや荒天で度々中断し、結局 4 月の初戦+6 チーム 1 回総当たりで順位を決めることになりました。11 月初旬時点では、4 月の試合に大敗、10 月 15 日は引き分け、そして 10 月 29 日は惜敗と残念な結果となっています。この記事が皆様のお目に触れるときには 11 月 19 日と 12 月 10 日の試合が終わっていることとなりますが、兎も角頑張るしか無い状況です。

(S40 卒 樋口周嘉)

5. シニア交流戦の活動

今年もコロナの影響が長引き、シニアの交流戦は従来のスケジュールをこなせない状況ではあったが、以下の交流戦が実施され(LB 会報 4 月号以降)、他大学 OB や藤枝チームとの交流を深めることができた。

- ① 6 月 27 日、北大、新宿との練習マッチ、於：私学事業団運動場
- ② 11 月 3 日、東早慶 3 大学対抗戦、於：検見川 G
- ③ 11 月 13 日、金丸杯、於：藤枝総合運動公園(以下に特集記事あり)

(S58 卒 中谷知弘)

3. 特集「金丸杯」(藤枝 FC 定期戦)

去る 11 月 13 日に藤枝総合運動公園で、2 年ぶりにオーバー 50 を対象とした藤枝 FC との交流戦「金丸杯」が行われました。今回は、残念なことに、LB の 50 歳代の人数が揃わなかったため、例年と異なり、O-60 と O-70 の対戦(共に 20 分ハーフ)で決勝を付けることとなり、結果は O-60 が 0-4 の負け、O-70 が 0-0 の分けで、藤枝 FC の勝利となりました。

さて「金丸杯」とはどのような大会なのかご存じない方もいると思いますので、ご紹介したいと思います。

そもそも、2003 年に、ア式蹴球部 S47 年卒で当時藤枝市立総合病院院長だった金丸仁さんの呼び掛けで、金丸さんの病

院チーム及び島田市立病院のチームと LB（金丸さんの同級生を中心としたメンバー）との交流が始まりです。2005 年になり、金丸さんが地元の藤枝 FC に参加されたのをきっかけに、藤枝 FC から LB に声を掛けて戴くようになり、秋の藤枝遠征が定着しました。

藤枝 FC との交流が始まって直ぐに両チームの間で話題となったのは、1958 年(昭和 33 年)に藤枝市で開催された第 38 回天皇杯全日本サッカー選手権大会の 3 位決定戦で、藤枝のチーム「志太サッカー」とア式蹴球部の若手 OB と現役の混成チームの「東大 LB」が戦っていたということでした(結果は 4-2 で東大 LB の勝利)。そこで、2007 年の大会後の交流会で、1958 年の大会当時に東大 LB が宿舎として使った割烹「とく萬」で懇親会が持たれたのです。この懇親会には大会に参加されていた両チームの先輩の出席もあり、当時を懐かしむ話に花が咲きました。

そして 2005 年から 11 回目に当たる 2015 年 11 月 7 日の交流試合の際に、その数年前から癌との闘病が始まっていた金丸さんが、「東大 LB-藤枝 FC 交流 金丸仁杯サッカー大会 優勝」と記した立派な金のカップを寄贈していただき、このときから交流試合は「金丸杯」争奪戦となりました。残念なことに金丸さんは 2016 年 3 月 4 日にお亡くなりになってしまいましたので、寄贈戴いたカップはまさに金丸さんの藤枝 FC・東大 LB 両チームへの想いのこもったお形見と言うことになりました。その後の金丸杯争奪戦では、勝者へのカップの贈呈は金丸さんの奥様から行われています。(S40 卒 樋口周嘉)



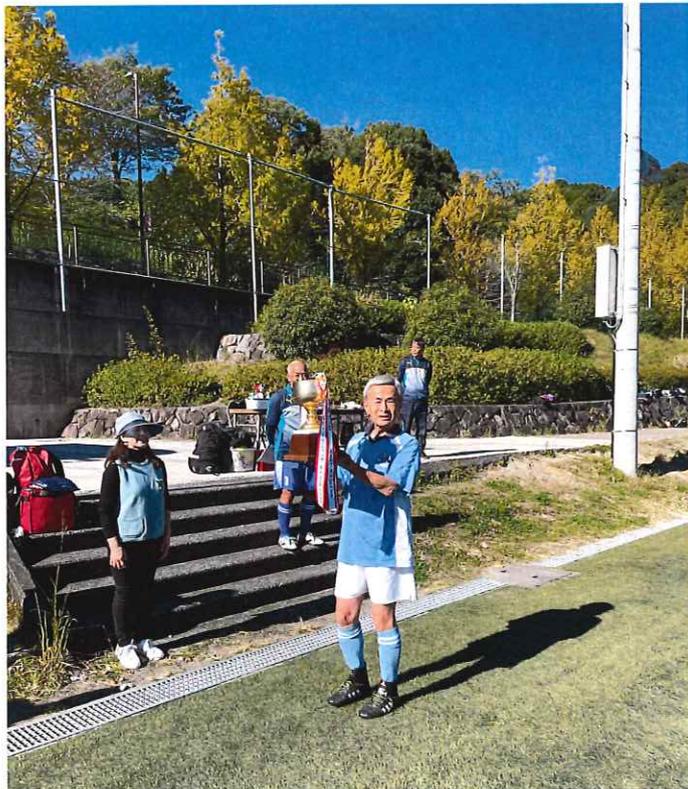
今年の金丸杯参加 LB チーム（2 列目中央の女性が金丸さんの奥様）



今年の「金丸杯」開会式風景



金丸杯と金丸さん遺影



← 今年の金丸杯開会式にて、樋口キャプテンから「金丸杯」返還（左の女性が金丸さんの奥様）



藤枝名物 サッカーエース最中

4. 2021 年度 LB 会費納入実績 （会費納入者一覧表は別ページご参照ください）

2021 年度（1 月から 12 月末）の会費納入実績は、310 人、4,271 千円です。これまでに納入いただきました方々につきましては、誠に有難うございました。過去の未払い分をまとめてお支払いいただいた方も何人もいらっしゃいました。なお、最近会費納入方法に関するご照会も増えておりますので、納入方法につきまして再度ご案内申し上げます。

LB 会費の納入方法

1. 口座振替

原則口座振替をお願いしております。口座振替登録いただきますと、毎年 6 月末に引落がかかります。手続きに必要な書類は、口座振替依頼書（口座登録印押印のもの）と、振替金額指示書です。会費担当の井田まで連絡いただければ、書類一式を送付致します（連絡先は以下の通り）。

2. 銀行送金をご希望の方

銀行送金を希望される方は、下記のいずれかの LB 口座に送金下さい（いずれも口座名義は、一般社団法人 東大 LB 会）。送金時期の決まりはありませんが、年 1 回の送金ですので、お忘れなきようお願いいたします。

- ・三菱 UFJ 銀行 日本橋支店（020）普通預金 5 1 2 5 3 1 1
- ・みずほ銀行 日本橋支店（038）普通預金 2 2 1 3 9 2 0
- ・ゆうちょ銀行 口座記号 0 0 2 2 0 - 7、口座番号 8 0 4 4 1

3. 年会費

4 口、12,000 円でお願いしていた時期もございますが、現在は、5 口 15,000 円でお願いします。

（院生など社会人になっていない卒業生は 1 口、3,000 円です）

会費担当：井田 淳（いだ じゅん、S 5 3 卒）

住所：〒225-0002 横浜市青葉区美しが丘 5-23-15

携帯電話：080-1149-4532

メール：PC の場合：motoko1713@mtd.biglobe.ne.jp

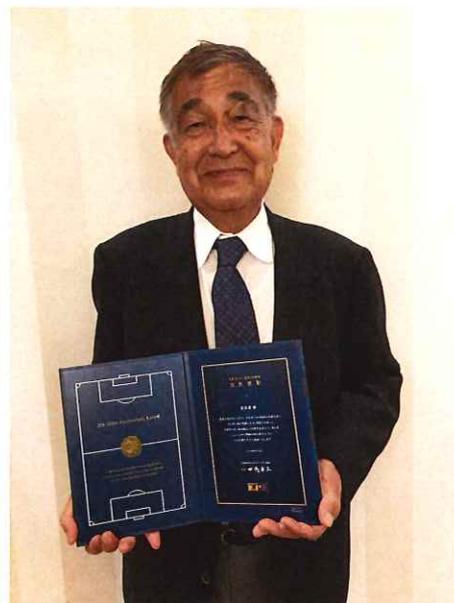
携帯の場合：junida.may@docomo.ne.jp

5. 武田理事長 日本サッカー協会より表彰

このたび武田理事長が「日本サッカー協会 100 周年 功労表彰」を受賞され、11 月中旬に表彰楯が協会から武田理事長に贈呈されました。

今年創立 100 周年を迎えた日本サッカー協会は、100 周年事業として、永年にわたりサッカーの普及や発展に貢献してきた個人又は団体の表彰を実施することとし、先月 11 月 8 日にその詳細が協会から公表されました。その中で武田理事長は、一般社団法人日本女子サッカーリーグ（略称 なでしこリーグ）の理事として永年にわたり、女子サッカーの普及と発展に貢献してきた功績が高く評価されたものです。創立 103 年目に入ったア蹴球部の歴史に、新たな足跡を刻まれたことに敬意を表するとともに、LB 会員一同、心よりお祝いを申し上げる次第です。おめでとうございます。

（LB 会事務局 和田康太郎）



6. LB 会ホームページで東大サッカーの歴史を知ろう

改訂された LB 会ホームページから、東大ア式蹴球部の歴史を知ることができます。

アクセスは簡単です。「東大 LB 会」⇒「東大ア式蹴球部の歴史」とクリックすると、

100 年誌や 90 年誌、闘魂などが閲覧できます。また「記事・記録」に進むと、データ化された“折原ファイル”（S31 年卒の折原一雄氏が、明治時代から昭和 31 年までの、日本サッカーに関する朝日新聞の記事や「アサヒスポーツ」の記事コピーを年代順に整理し、日本サッカー協会に寄贈されているファイル）も閲覧できます。折原ファイルを見ると、東大が日本サッカーを牽引した時代の状況がよくわかります。是非一度ご一読ください。

なお、LB 会ホームページに行かなくても、折原ファイルに一発でアクセスする方法を、折原さん自ら編み出されました。PC の検索欄で「記事・記録 東大 LB 会」と打っていただく方法です。併せてご案内します。

（S53 卒 井田 淳）

7. 訃報連絡

2020 年、2021 年に、次の会員の方々が逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

- ・S41 卒 廣瀬英雄 逝去日：2020.1.5.
- ・S39 卒 長田綏男 逝去日：2020.7.
- ・S53 卒 牧野尚雄 逝去日：2020.9.6.
- ・S25 卒 丸山智信 逝去日：2021.1.7.
- ・S38 卒 高橋一修 逝去日：2021.7.19.

東京大ア式蹴球部

日本で最も古い大学サッカー部として野津謙氏が1918年に創部。野津氏は大日本蹴球協会(現日本サッカー協会)の創立に参画し、第4代会長になった。22年には早大、東京高等師範学校(現筑波大)、東京商科大(現一橋大)とともに国内初のリーグ戦を始めた。元日本代表監督の竹腰重丸氏、代表監督や日本協会第9代会長を務めた岡野俊一郎氏らを輩出した。東京都大学リーグ1部所属。



福岡戦で自身J1初ゴールを決めて笑顔を見せる柏時代の林陵平(日立柏サッカー場で2011年8月20日、三浦博之撮影)



林体制となつてからの部の様子を語る前主将の吉岡康生(中村有花撮影)

「アが決まっていなかった中、まったく関わりがなかった東大から監督就任を打診され、びっくりした。それも東大へ」

が中心となり、学生約10人で「強化ユニット」を編成。部のレベルを引き上げてくれる人物に狙いを定め、部出身者に

体力、気力、生活指導も

就任した林監督は「全員が主体性を持ってトレーニングしてほしい」と伝えた。指導を始めるに「アシリート能力に課題を感じた。部員はサッカー経験者ばかりとはいえず、受験勉強に多くの時間を割いてきたため体力不足が顕著だった。技術や戦術は大勢だが、それらを90分間発揮するには「走れないと話にならない」(林監督)と、特にシンスン前にはスタミナ強化に重点を置いた。

部員たちは、林監督のJリーグでの経験や欧州の最新情報などを踏まえた技術指導に期待していたというが、基礎を大切に指導を受け、足を元を見つめ直した。8月下旬まで主将を務めた4年のDF吉岡康生(21)は「戦術だけに頼りがちだった」とそれまでを振り返る。主将MFで2年の三谷深良准(20)は「(受験で)体力が落ちていたが、今は戻ってきている」と変化を感じている様子だ。

林監督は「アシリートのメンタル」注入にも力を入れた。今春の練習試合では先制しながら追いつかれると気落ちし、逆転負けした。試合後に吉岡を呼び、「(審判)ぶの様子にそういう般は破った方がいい。チームが落ち込んでいる時は、主将が一番声を出して自分からやっつけていかないといけない」と語った。生活面も

り、1部は男子チームとなる。今の目標は新体制での1部入りだ。

東大サッカー部は、同部出身初のJリーガーとして10年にJ2岡山に入り、10年に引退したFW久木田紳吾さん(32)の例はあるが、出身者がプロ入りするケースはまれだ。三谷が升龍士を目指しているように、部員たちは将来、さまざま分野での活躍を視野に入れている。林監督はこう願う。「サッカーで付加価値をつけてほしい。頭が良くて、社会に出て通用するとは限らない。サッカーを通じて、礼儀やコミュニケーション能力を身につけて、人間として当たり前のことを当たり前にできる人間になってほしい。僕はサッカーよりもそっちの方が大事だと願っている」

【中村有花】(部員は敬称略)

「大学スポーツ365日」は毎週日曜にお届けします

この記事は、9月12日の毎日新聞に掲載されました。

「大学スポーツ 365 日」は、毎週日曜日に継続掲載されています。

林監督の視点からの記事として、よい記事になっていると思います。

また、現役の取り組み状況も概略わかる記事になっています。

ご一読下さい。

(LB 会事務局 和田康太郎)

(注)毎日新聞殿の許可を取って転載しております。

大学スポーツ
365日

元Jリーガー監督「小言」の理由 東大ア式蹴球部

戦術だけでは戦えない

100年を超える東大ア式蹴球部（サッカー部）の歴史で、極めて珍しい「外部」からの監督に就任した。Jリーガーを引退した直後に着任した林陵平監督（39）は「やっぱり大変」と言いながらも表情は充実感に満ちていた。現役時代に他とひと味違う活動をしてきたことが、異例の挑戦につながった。現役ラストマッチの前日、一本の電話がかかってきた。

その後、高橋らと何度も会ってチームの方針を聞き、「模擬指導」を通して選手たちの熱意にも触れた。「こんなチャンスはなかなかない。実際に指導で見た時にも、（部のレベルの高さとして）やれると感じた」。1月30日、監督就任が発表された。

高橋は以前から林監督の存在を意識していた。「個人技で勝てない分、目指すのは戦術で補うスタイル。考え方に僕たちと共通点があるのではないか」と、知人を介して連絡先を聞き、打診した。プロの監督となれば給与も必要だが、部の運営資金を得ようとスポンサーを募っていた実績があり、OB会の援助もあった。正式契約にこぎ着けた。

東京都出身の林監督は明大を経て2009年、育成組織時代に10年間を過ごした東京ヴェルディでプロになった。身長186センチの大型FWで、柏と山形で計3季プレーしたJ1では36試合で3点、J2では264試合で64点を挙げ、12年間で6クラブを渡り歩いた。日本代表経験はなく、全国的な知名度はないが、サッカー愛好者の中では知られた存在だ。「マニア」と呼ばれるほど海外サッカーに造詣が深く、現役選手でありながらテレビ解説やサッカー雑誌のコラム執筆などをしてきたためだ。

東大サッカー部は日本の大学では最も歴史が長く、日本代表監督や日本サッカー協会会長も輩出している。正式名称のア式蹴球部のア式は、近代サッカーのルール統一に大きな役割を果たした「フットボール・アソシエーション（F.A.）（イングランド・サッカー協会）に由来する。かつては関東1部リーグに所属したが、2部降格を経て近年は東京都大学リーグの1、2部を行き来している。

4月から10月まで行われる東京都大学リーグ1部では現在、1勝3分け8敗で13チーム中最下位にいる。苦しい戦いが続くが、林監督は「90分しっかり走りきれるようになってきたし、自分たちがへばってスタミナがなくなったな」とこの間は感じない」とこの間の変化を感じる。

J2群馬に所属していた20年11月、そのシーズン限りでの現役引退を公表した。最終節を翌日に控え、アウエーの京都に乗り込んだ12月19日、携帯電話が鳴った。東大サッカー部のスタッフで、当時2年の高橋俊哉（21）からだ。引退後のセカンドキャリア

この数年は学生主体でチームを運営しており、100人近い部員のうち、強化や分析などを担当するテクニカルスタッフ、広報スタッフなど、選手以外が約3割を占める。監督選任まではしていなかったが、同部がプレー後、18年からチームを率いた山口遼・前監督（26）が20年春、その年限りで退くことを一部の部員に伝えた際、「次の監督は学生たちで選んだらどうか」と提案した。スタッフの一人の高橋



練習で部員と一緒にボールを追いかける林陵平監督（左端）＝東京都文京区で7月9日、中村有花撮影

現在1〜4部制の同リーグは22年度から1、2部と、チャレンジリーグの3部制となっている。

細部までこだわるのは、自身の大学時代の経験からだ。東京ソウのユースから明大に入った際は「1年から（試合に出られるぐらいの気持ちでいた）」というが、なかなかAチームに入れなかった。同期で、その後日本代表で長年活躍するDF長友佑都（36）もコンディショニング不良で試合に出られない時期があった。力があったも歯車がかみ合わなければ競争を勝ち抜けないと肌で知り、サッカー部の寮にある2段ベッドの8人部屋で過ごすのが「やめたい」と思ったこともあったが、プロを目指し続けた。自らトレーニングを考え、揚げ物を取らないなど食事面から体づくりを自覚する中でチャンスをつかめるようになった。「人間形成の部分が4年間、積み上げたものがあつたから、プロで12年間プレーできたと思っている。高校から直接プロに行っていたら、2〜3年でクビになっていたと思う」。だからこそ、部員への「小言」もいとわない。

◆◆LB会費納入者一覧表(H29~R3)◆◆

2021年11月22日現在

卒年	氏名	H29	H30	H31	R2	R3	
S14	田村 三郎(逝去)						
S18	渡辺 隆二						
S23	高崎 達也		24				郵便
S25	丸山 智信(逝去)						
S27	秋山 榮	12	12	12		30	三菱
S27	菊井 維正	12	12	12	12	12	三菱
S27	三輪 嘉成	12	24	12	20		みずほ
S27	吉富 裕	12	12	12	12		みずほ
S28	柴沼 明(逝去)		12	24			三菱
S28	坪田 亜規良		24				郵便
S28	中原 壯六	12	12		12		郵便
S29	金井 弘夫		12	48			郵便
S29	川辺 正行	12	12	12			口座
S30	折原 一雄		12		12		郵便
S30	鈴木 美暢		12				郵便
S30	深見 浩一				100		三菱
S31	浅見 俊雄	21	21	21	21	21	口座
S31	岡野俊一郎(逝去)						
S31	片山 義朗	12	12	12	12	12	口座
S31	山本 修(逝去)	12	12				口座
S32	片原 清	12		12	24	15	みずほ
S32	倉田 日出男						
S32	嶋田 武夫	12	12	12	12	12	口座
S32	津田 義久	12	12	12	12	12	口座
S32	原 靖二郎	12	12	12	12	12	口座
S33	井田 信雄(逝去)						
S33	西野 宏	18	18	18	18		三菱
S33	浜口 幸久	24	12	12		24	三菱
S34	畔柳 敏雄	15	15	15	15	15	口座
S34	佐藤 芳夫		24				郵便
S34	長崎 充博						
S35	伊野部元彦(逝去)						
S35	小山 富士夫	30	30	30	30	30	口座
S35	長濱 毅		20				郵便
S35	福田 泰二	12	12	12	12	12	口座
S36	足立 格一郎		12				三菱
S36	野澤 量一郎	12	12	12	12	12	口座
S36	松村 保			36			郵便
S36	本林 徹			48			みずほ
S37	名越 英夫	12	12	12	12		三菱
S38	梅村 洋	12	12	12	12	15	みずほ
S38	高橋 修(逝去)	12	12	12	12	12	みずほ
S38	中村 紀雄	12	12	12	12	12	口座
S38	門馬 建	9	9	9	9	9	口座
S39	安達 二郎	15	15	15	15	15	口座
S39	宇尾 誠一	15	15	15	15	15	口座
S39	小川 肇	12	12	12	12	12	口座
S39	熊沢 英男	15	15	15	15	15	口座
S39	後藤 雅治	15	15	15	15	15	口座
S39	中島 宏介	12	12	12	12	12	口座
S39	長田 綏男(逝去)		12	12			三菱
S39	八田 洋	12	12	12	12	12	口座
S39	森 紘一	12	12	12	12	12	口座
S39	山浦 紘一		24	12	24		三菱
S39	山田隆哉(逝去)	12	10				郵便
S39	吉田 慶次						
S40	新井 俊一(逝去)		36				郵便
S40	石田 金次郎	15	15	15	15	15	口座
S40	石光 豊	12	12	12	12	12	口座
S40	太田 直幹	12	12	12	12	12	口座
S40	加藤 義章	12	12	12	12	12	口座
S40	川瀬 隆弘	24	12	12	12		みずほ
S40	畔柳 信雄	12	12	12	12	12	口座
S40	小林 邦彦	12	12	12	12	12	口座
S40	樋口 周嘉	30	30	30	30	30	口座
S40	深澤 重幸			36			三菱
S40	間宮 誠一郎	12	12	12	12	12	口座
S41	河島 洋征	18	18	18	18		口座
S41	香山 晋	15	15	15	15	15	口座
S41	武田 勝年	15	15	15	15	15	口座
S41	中岡 智信	3	3	3	3	3	口座
S41	野村 晋作	15	15	15	15	15	口座
S41	廣瀬英雄(逝去)	12	24				郵便
S41	藤井 俊治	15	15	15	15	15	口座

831 747 555

卒年	氏名	H29	H30	H31	R2	R3	
S41	水澤 雅武	15	15	15	15		基金
S41	渡辺 翼	12					
S41	平田 攻			30		15	郵便
S42	草野 干夫	75	12		24		三菱
S42	熊谷 貞俊						
S42	小柳 理	12	12	12	12	12	みずほ
S42	坂井 忠昭	15	15	15	15	15	口座
S42	鳥原 光憲	15	15	15	15	15	口座
S42	見米 統一	12		12			郵便
S42	吉田 茂男	12	12	12	12	12	口座
S43	小西 敏夫	12	12	12	12		口座
S43	諏訪 勝久	12	12	12	12	12	口座
S43	中井 省	12	12	12	12	12	口座
S43	小川 恭二	12	12	12	12	12	口座
S43	小林 将志	15	15	15	15	15	口座
S43	中尾 捷	12	12	12	12	12	口座
S44	石田 祐幸	12	12	12	12	12	口座
S44	大町 達夫		12				郵便
S44	加納 研之助	12	12	12	12	12	口座
S44	北川 薫	12	12	12	12	12	口座
S44	杉山 健一	12	12	12	12	12	口座
S44	小林 喜一	12	12	12	12	12	郵便
S44	友定 正治	12	12	12			みずほ
S44	永峰 富一	12	12	12	12	12	口座
S44	錦島 厚	12	12	12	12	12	口座
S44	馬郡 貴司	12	12	12	12	12	口座
S44	松岡 誠也	12	12	12	12	12	口座
S44	戴内 俊和	15	15	15	15	15	口座
S45	小菅 恭彦	12	12	12	12	12	口座
S45	小柳 望	12	12	12	12	12	口座
S45	佐藤 吉見	15	15	15	15	15	口座
S45	武田 厚	21	21	21	21	21	口座
S45	内代 康之	15	15	15	15	15	口座
S45	新倉 正和		12	12	12	12	三菱
S45	梶井 成夫	12	12	12	12	12	口座
S45	吉崎 英雄	15	15	15	15	15	口座
S45	渡辺 宏	12	12	12	12	12	口座
S46	小原 正	12	12	12	12	12	口座
S46	鹿島 文行	12	12	12	12	12	口座
S46	金丸 仁(逝去)						
S46	古村 一郎	12	12	12	12	15	三菱
S46	櫻井 英人	12	12	12	12	12	口座
S46	清水 俊行	15	15	15	15	15	口座
S47	赤松 秀樹	12	12	12	12	12	口座
S47	大日向 明	12	12	12	12	12	口座
S47	金武 貢	12	12	12	12	15	みずほ
S47	黒沢 秀樹	48	12				郵便
S47	俵 新	12	24	12			三菱
S47	手島 直幸	15	15	15	15	15	口座
S47	戸井 正明	12	12	12	12		郵便
S47	宮路 康利	18	18	18	18	18	口座
S48	上妻 達也	60					
S49	井上 正嗣	12	12	12		24	郵便
S49	内田 純司	15	15	15	15	15	口座
S49	岡田 滋行	12	12	12	12	12	口座
S49	笠原 昌行	15	15	15	15	15	口座
S49	佐々木 順孝	12	12	12	12	12	口座
S49	田名 眞一	12	12	12	12	12	口座
S49	西澤 良徳	12	12	12	12	12	口座
S49	三田 四郎					15	郵便
S50	天野 裕	12	12	12	12	12	口座
S50	遠藤 譲	12	12	12	12	12	口座
S50	磨井 祥夫	24		24			郵便
S50	大高 松男	12	12	12	12	12	口座
S50	尾崎 哲男	21	21	21	21	21	口座
S50	柴田 敏之	24		24	15	15	三菱
S50	兵頭 圭介	30	30	30	30	30	口座
S50	山中 馨	12	12	12	12	12	口座
S50	山辺 福二郎	12	12	12	12	12	口座
S50	吉澤 伸明	30	30	30	30	30	口座
S50	松下 兼幸	12	12	12	12	12	口座
S51	池森 俊文	18	18	18	18	18	口座
S51	植村 祐幸	12	12	12	12	12	口座
S51	小野田 莊平	12	12	12	12	12	口座
S51	影本 浩	12	12	12	12	12	口座
S51	田中 靖	12	12	12	12	12	口座

960 873 870

卒年	氏名	H29	H30	H31	R2	R3	
S51	谷本 篤信	12	12	12	12	12	口座
S51	堀井 茂	18	18	18	18	18	口座
S51	御園 慎一郎	12	12	12	12	12	口座
S51	南谷 尚志	12	12	12	12	12	口座
S51	宮武 明	12	12	12	12	12	口座
S52	池田 吉彦	15	15	15	15	15	口座
S52	岩田 武史	30	15	15	15		みずほ
S52	加藤 重和		15	15	15		郵便
S52	藤原 真一	30	15	15	15	15	口座
S52	三島 茂	12	12	12	12	12	口座
S52	森井 太一(逝去)						
S53	青山 研一郎	12	12	12	12	15	郵便
S53	阿部 吉弘	12	12	12	12		口座
S53	井田 淳	12	12	15	15	15	口座
S53	加川 実	12	12	15	15	15	口座
S53	善道 隆	12	12	12	12	12	口座
S53	本庄 孝志	12	12	12	12	12	口座
S53	牧野 尚雄(逝去)				72		
S53	山崎 隆志	12	12	12	12	12	口座
S54	上村 司		24	12		27	三菱
S54	岸戸 健			48			三菱
S54	広瀬 一郎(逝去)						
S54	宮 恭久	12	12	12	12	12	口座
S54	吉江 建一	12	12	12	12	12	口座
S54	吉野 元章	15	15	15	15	15	口座
S55	青山 市三	12	12	12	12	12	口座
S55	飯島 正	12	12	12	12	12	口座
S55	井田 陽彦	12	12	12	12	12	口座
S55	大塚 伸宏	12	12	12	12	12	口座
S55	柿木 真澄	12	12	12	12	12	口座
S55	菊地 保旨	12	12	12	12	12	口座
S55	佐藤 敦郎	12	12	12	12	12	口座
S55	藤 和則	12	12	12	12	12	口座
S55	宮崎 洋	12	12	12	12	12	口座
S56	安藤 豊	12	12	12	12	12	口座
S56	牛窪 健一	12	12	12	12	12	口座
S56	田中 聡	12	12	12	12	12	口座
S56	福田 信夫	12	12	12	12	12	口座
S56	松元 明弘		12		12	12	みずほ
S57	赤星 克彦	12	12	12	12	12	口座
S57	飯島 敦	12	12				郵便
S57	坂田 中	12	12	12	12	12	口座
S57	志水 利彰	12	12	12	12	12	口座
S57	川村 公一	12	12	12	12	12	郵便
S57	福沢 伸哉	12	12	12	12	12	口座
S58	安 秀和(逝去)	12					
S58	植田 浩	12	12	12	12	12	口座
S58	熊倉 政宣	12	12	12	12	12	口座
S58	斎川 路之	12	12	12			

卒年	氏名	H29	H30	H31	R2	R3	
S63	利重 孝夫	15	15	15	15	15	口座
S63	浜田 穰太郎						
S63	外野 雅彦	12					
S63	山本 武志	12	12	12	12	12	口座
H1	大久保 将之	12	12	12	12	12	口座
H1	後藤 裕一			12			郵便
H2	安藤 拓朗	12					
H2	鹿取 正信						
H2	金元 輝	12	12	12	12	12	口座
H2	金見 敦弘			12			三菱
H2	熊岡 尚	12	12	12	12	12	口座
H2	黒木 博史						
H2	住谷 安史	12	12	12	12	12	口座
H2	中村 文彦	12	12	12		15	みずほ
H2	橋本 昌司	12	12				郵便
H2	早野 裕	12	12			12	みずほ
H3	浅野 聖太			10	12	12	三菱
H3	荒巻 俊也	12					
H3	小島 恭	12				15	みずほ
H3	白枝 哲次	12	12	12	12	12	口座
H3	津村 健司	30					
H3	平岡 洋	12	12	12	12	12	口座
H3	山口 老和	12	12	12	12	12	口座
H3	山田 祈一	12					
H4	天野 賢一	12	12	12	12	12	口座
H4	福村 孝史	12	12	12	12	12	みずほ
H4	加藤 久直						
H4	荻野 哲弘		12				郵便
H4	早間 央						
H4	嶋田 陽介						
H4	中村 一朗		24				みずほ
H4	蛭川 明男	12	12	12	12	12	口座
H4	前沢 重男			12			郵便
H4	岡垣 啓司	12	12	12	12	12	口座
H5	大西 啓介						
H5	星川 佳広	48	12	12		24	三菱
H5	島上 浩二	48	12				みずほ
H5	堀江 弘一郎	12					
H5	一色 史雄			12			三菱
H6	檜川 和正		12				みずほ
H6	霜島 弘則	50	12	12	12	12	口座
H6	西原 基史	12					
H7	大石 智弘		12				郵便
H7	大川 幸樹	12	12	12	12	12	口座
H7	高橋 康之						
H7	吉川 健司	12	12	12	12	12	口座
H7	分部 隆夫			36			郵便
H8	神田 毅						
H8	松井 輝昌			45	15		口座
H8	鈴木 智典						
H8	古川 弘之	15	15	15	15	15	口座
H8	前川 圭吾						
H8	松田 直樹	12	12	12	12	12	口座
H9	江口 英樹		12		12		みずほ
H9	竹内 眞之介		12				郵便
H9	村岡 哲郎					75	三菱
H10	秋山 淳		24			24	三菱
H10	加藤 浩隆		24	12	12	12	郵便
H10	菱沼 紀行		24				みずほ
H10	矢野 将文		36				郵便
H11	大谷 聡	12	12	12	12	12	口座
H11	小林 政雄						
H11	永井 伸						
H11	日高 直俊						
H11	樋渡 類	12	12	12	12	12	口座
H11	宮川 尚久	15	15	15	15	15	口座
H11	永守 大輔	12	12	12	12	12	口座
H12	伊地知 亮太						
H12	下田 修平		24				三菱
H12	福田 雅			30	30	30	口座
H13	足立 雅人	12	12	24			郵便
H13	伊藤 陽介	12	12	12	12	12	口座
H13	小川 和聖	15	15	15	15	15	口座
H13	我部 有	12	12	12	12	12	口座
H14	沖野 泰之	3	3	3	3	3	口座
H14	柿木 充	18	18	18	18	18	口座
H14	光井 逸平	12	12	12	12	12	口座
H14	山中 直岐	6	6	6	6	6	口座
H14	南谷 梨沙						

535 462 585

卒年	氏名	H29	H30	H31	R2	R3	
H15	稲島 豪志	12	12	12	12	12	口座
H15	緒方 崇裕	12			50		みずほ
H15	小野 高志	12	12	12	12	12	口座
H15	中島 大智	15	15	15	15	15	口座
H15	米山 雅也	12	12	12	12	12	口座
H15	胡内 健一	12	12	12	12	12	口座
H15	新山 通世	12	12	12	12	12	口座
H15	吉田 寛	12	12	12	12	12	口座
H16	河島 清貴	12	12	12	12	12	口座
H16	小松 幸広	12	12	12	12	12	口座
H16	清 雄一	15	15	15	15	15	口座
H16	高橋 康一	12	12	12	12	12	口座
H16	鷲田 俊	15	15	15	15	15	口座
H16	茂木 高志	12	12	12	12		みずほ
H16	渡部 雅史	12	12	12	12	12	口座
H16	渡辺 勇樹	12	12	12	12	12	口座
H17	河村 俊太郎	12	12	12	12	12	口座
H17	坂本 優	12	12	12	12	12	口座
H17	瀬谷 洋平	12	12	12	12	12	口座
H17	辻 正太	15	15	15	15	15	口座
H17	一言 正之	15	15	15	15	15	口座
H17	牧 尚史	15	15	15	15	15	口座
H18	朝倉 昶	12	12	12	12	12	口座
H18	岩田 真吾	12	12	12	12	12	口座
H18	上土屋 悠	15	15	15	15	15	口座
H18	梶原 康嗣	12	12	12	12	12	口座
H18	北村 篤司	12	12	12	12	12	口座
H18	寺田 宏幸	12					口座
H18	福島 周作	3	3	3	3	3	口座
H18	宮副 照久	12	12	12	12	12	口座
H18	山崎 浩平	12	12	12	12	12	口座
H19	赤木 升	12	12	12	12	12	口座
H19	石黒 雄一	12	12	12	12	12	口座
H19	今西 康雄	12					
H19	河村 卓修	12	12	12	12	12	口座
H19	齋木 拓郎	3	3	3	3	3	口座
H19	池田 亮一				84	12	口座
H19	中村 達也					90	三菱
H19	西村 直紀	12	12	12	12	12	口座
H20	青木 宏	12	12	12	12	12	口座
H20	明石 篤	12	12	12	12	12	口座
H20	旋 知也	12	12	12	12	12	口座
H20	池田 曉彦	3	3	3	3	3	口座
H20	伊藤 貴寛	12	12	12	12	12	口座
H20	菊月 達也	3	12	12	12	12	口座
H20	木野本 朋哉	12	12	12	12	12	口座
H20	杉山 翔一	21	12	12	12	12	口座
H20	畑中 計政	6	6	6	6	6	口座
H20	水口 智					15	口座
H20	金山裕介					87	口座
H20	百谷将佑					15	三菱
H20	宮本 雅之	12	12	12	12	12	口座
H21	大沢 拓巳	12	12	12	12	12	口座
H21	小苗 健太	36	12	12	12	12	口座
H21	鈴木 亮平	15	15				郵便
H21	高橋 信行	12					
H21	千布 勇気	24		24			三菱
H21	中川 隆	48				51	みずほ
H21	中島 悠司	12		24			三菱
H21	林 敏	12	12	12	12	12	口座
H21	船本 洋平	12					
H21	水澤 仁雅	24	12	12	12	12	三菱
H22	後藤 遷也	3	3	3	3	3	口座
H22	深田 啓介	3	3	3	3	3	口座
H22	村上 達哉						
H22	望月 進司				60		三菱
H22	吉田 航太郎	12	12	12	12	12	口座
H23	久木田 紳吾			36	12	12	口座
H23	佐藤 裕人	36					
H23	白井 英介	12					
H23	松谷 康平	3	3	3	3	3	口座
H24	鈴木 康平						
H24	野中 尚輝	3		15	15	15	口座
H24	崎田 祐貴	12	12	12	12	12	口座
H24	宮川 啓輝	12	12				手渡し
H24	三浦 良介			12	12	12	口座
H25	入松川 知也	3	3	3	3	3	口座
H25	鈴木 宏樹	12	12	12	12	12	口座
H26	今泉 誠也					15	口座

723 845 924

卒年	氏名	H29	H30	H31	R2	R3	
H26	上原 大樹	15	15		20	20	郵便
H26	植松 黎	6	6	6	6	6	口座
H26	遠藤 有香	12					
H26	大島 優迪	12	12	12	12	12	口座
H26	大苗 隆太	12	12		12	15	三菱
H26	片山 元	24			24	30	三菱
H26	賀茂 駿介						
H26	吉清 裕一						
H26	小林 三奈美						
H26	中川 雄貴						
H26	長尾 林太郎						
H26	広川 英司						
H26	光永 尚史						
H26	矢野 慎一	12	12	12	12	12	口座
H26	宮城 朋果						
H26	山川 剛	12	12	12	12	12	口座
H26	山口 裕吾	12	12	12		15	三菱
H26	山崎 華奈子						
H27	目下 暢之	24					
H27	柳原 和洋	3	3				三菱
H27	松田裕生				24	12	口座
H27	藤井 朋子				12	12	口座
H27	濱田 悠司	3	3				みずほ
H28	花嶋 陽	3	3				郵便
H28	嶺川 一喜						
H28	坂本 晋吾	12					
H28	中西 大貴	3	3				みずほ
H28	池田 滙	3	3	3	3	3	口座
H28	金瀬 宇彦	12	12	12	12	12	口座
H28	近松 岳洋	12	12	12	12	12	口座
H28	辻 淳之	3	3	3	3	3	口座
H28	増田 貴行	3	3	3	3	3	口座
H28	藤岡 佑将					15	口座
H28	安達 将太					60	三菱
H28	成瀬 明					3	口座
H29	鈴木 咲絵子	12	12		12	12	口座
H29	酒井 加里武		3				三菱
H29	高野 陽介	12					
H29	中間 雅之	12	12	12	12	12	口座
H29	新見 豪太	12	12	12	12	12	口座
H29	渥美 真生	3					
H29	富山 潤一	12	12	12	12	12	口座
H29	北山 淳					15	三菱
H30	柳澤 アーサー		12	12	12	12	口座
H30	箭川 展		3				郵便
H30	山本 健		3				郵便
H30	服部 直弘	3	3				みずほ
H30	大坪 佳夏子				3		口座
H30	多田 憲介			12	12	12	口座
H31	糸谷 歩			12	12	15	口座
H31	小坂 彩				12	12	口座
H31	小椿 直輝			12	12	12	口座
H31	佐俣 勇祐			3	3	3	口座
H31	日野 雅奈			12	12	12	口座
H31	藤山 晃太郎			3	3	3	

◆◆写真集◆◆



10月3日 CIEリーグ第2節 対国際基督教大学戦
於：農学部グラウンド 当日のスタメン



6月27日 東京都社会人2部リーグ vs MHFG
サッカー部 於：つくば市Tフィールド



11月3日 東早慶3大学対抗戦にて 左の写真がO-70チーム、右がO-60チーム 於：検見川G



6月27日 北大、新宿との3チーム交流戦 於：私学事業団運動場